

低温乾燥処理技術によるエコフィード生産

「農事組合法人高清水養豚組合」（宮城県栗原市）

1 概要

① ≪概要・データ≫

- ・ 農事組合法人高清水養豚組合は、有志5人により昭和47年に設立。
（現在は構成員4名、従業員15名）
- ・ 経営規模は、母豚400頭、肥育豚を月平均750頭出荷。

② ≪特徴的な取組≫

- ・ これまで水分調整が難しく飼料化処理が困難だった食品残さの生麺、かまぼこ類を利用するため、真空乾燥機を導入し、低温で乾燥処理し粉砕するという独自の技術により良質かつ安価なエコフィードを生産。
- ・ エコフィードを配合飼料の原料として10%添加することで、飼料費を約3%削減。さらに提携農場（10カ所）へ提供。

エコフィード工場



エコフィード飼料



2 今後の課題、目標等

- ・ 現在、食品製造者との残さ供給契約は約3トンで、真空乾燥機の最大処理能力5トンまで増やすとともに、飼料米の利用も検討。
- ・ 自社ブランドの三元交配豚「高清水KYOポーク」を軸に、生産から流通までを行う6次産業化を推進。